

Imadokiセミナー → 働き方見学ツアーに来ませんか？

2018年1月に完成したコムデックの現在の社屋には、「働き方改革オフィス」として生産性を向上させる仕掛けがたくさんあります。そんな社屋を見学+「中小企業に必要なIT活用とは？」といったテーマの御社専用セミナーを開催！もちろん無料！！実際にコムデックに見学に来ていただくことで、話を聞くだけではイメージしにくかった「クラウドサービスを使った働き方、仕事の進め方」をご覧いただくことが可能です。



先日は、岡山県から社員旅行も兼ねて従業員の皆様でお越しくださったり、四日市から観光バスでお越しくださった企業様もいらっしゃいました！
 経営者様だけでなく、現場で働いていらっしゃる方も一緒に体験していただく事で、「今はこういう管理をしているけど、〇〇さんしか解らなくてとても不便。こんな風に変えていけばいいの！」「うちの会社だったらこういう場面でこのツールがあると便利！」「一気には難しいかもしれないけれど、実際に使うイメージができた」といった前向きなご意見がたくさん出ておりました。
 日程、内容をご希望に合わせて調整いたしますので、「コムデックの社屋見てみたいな〜」くらいのご希望でも弊社スタッフにご相談ください。是非一度ご検討をよろしくお願いいたします！

岡山県からお越しいただいたネットリンクスの皆様



バスで気合を入れてお越しいただいた四日市「おふる café 湯守座」の皆様



Imadoki コラム → パソコン廃棄方法についてのご報告

次々と運び込まれる廃棄パソコン... 勿体ないとは思いますが、5～7年利用されたパソコンや梱包材の発泡スチロールは一般ゴミとして処理できませんので、業者に有償で処分を依頼しています。弊社では以前からお客情報漏洩防止対策に力を入れており、廃棄対象のパソコンから記憶媒体を取り出し、「CrachBox」で貫通孔を空ける事で物理的にハードディスクを破壊します。廃棄業者に依頼する事も可能ですが、運送・保管中の盗難等も考慮に入れて自社にて破壊を行いますのでご安心ください。



COMDEC パソコン廃棄ルール

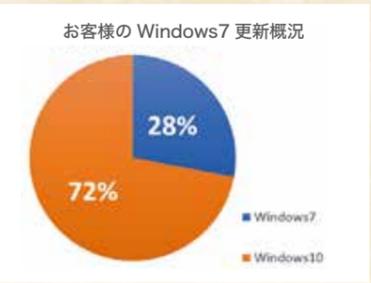
- ① 回収してきたパソコンから回収当日に記憶媒体(ハードディスク・SSD)を取り出す
- ② 取り出した記憶媒体は、データ移行の不具合に備えて、1ヵ月間保存する
- ③ 1ヵ月経過したハードディスクは、専用の破壊装置「CrachBox」にて物理破壊する
- ④ 廃棄PCと破壊した記憶媒体は専門業者に引き取りを依頼し、廃棄証明書を発行してもらう

COMDEC Imadoki | 2019 October 10 | vol. 54

Windows7サポート終了まで、残り100日!!

Windows7サポート終了まで、残り100日!!

Windows7 パソコンの更新はお済でしょうか？ マイクロソフトによる Windows 7 の延長サポートは、2020年1月14日に終了期限を迎えます。これで Windows 7 のサポートは完全終了となり、以降はマイクロソフトだけでなく、ご利用中の会計や給与、販売管理等々の業務ソフトのメーカーだけでなく、弊社からもサポートは原則として提供されなくなります。期日以降のご利用については、お客様のご判断となりますが、サポート終了後も Windows7 を使い続けるとセキュリティリスクだけでなく、データ移行が出来なくなる、障害が起こってもサポートが提供されないなど、様々なリスクを抱え込むこととなります。



Windows7 の延長サポート終了まで、いよいよ残り 100 日を切ろうとしているわけですが、弊社「IT 環境保守契約」加入ユーザー様の Windows10 への更新率は9月初旬段階で約 72% となっており、まだ約 3 割のお客様が Windows7 を使い続けて見えます。

PC やサーバーの買い替え、業務システム更新、そしてクラウドサービスを用いた生産性向上へのチャレンジと、何かと IT 投資が増える事となり恐縮ではございますが、経営者・IT 担当者の皆様に置かれましては、ご対応の程よろしくお願いいたします。

厚生労働省もお薦め!? 働き方改革にチャットツール活用を!

経営者の方が忌み嫌い、労働者の正義の味方である労働基準監督署の監督省である厚生労働省は、昔から激務で有名なお役所であり、「ブラック厚労省」、「霞が関の「残業王」と呼ばれているブラックジョークがあります（因みに国家公務員は労働基準法適用外 ... という笑えない話も）。

「働き方改革」の旗振り役であるだけに、流石に不味いと思ったのか、厚生労働省の改革若手チームから赤裸々な現状報告と未来に向けた提言が発表されました。

IT活用が進まない、旧態然とした働き方について、「課長級以上は、Outlook 予定表の活用が原則となっていることを知っていましたか?」、「労働基準監督官による、本省各部署への抜き打ちの模擬指導」を提言するなど過激な内容となっており、他人事とは思えない中小企業あるある的な内容です。真面目で面白い内容ですので、全文を見ていただく事をお勧めいたします。



厚生労働省改革若手チーム 検索

厚生労働省提言に納得、「電子メールが失礼と言われた時代もありました」

提言レポートを読むと、日本の中枢省庁でも、中小企業と変わらぬ働き方改革を阻害する非効率な作業が行われている事がわかります。生産性を向上させるには、「時間」の使い方に着目し、時間を有効に利用する意識改革が欠かせません。しかし、日本人が得意とする、回りくどく丁寧な、「訪問対面」「電話」「FAX」「メール」と云ったコミュニケーション手段は、生産性を阻害する原因として取り上げられています。

コミュニケーション・連絡手段を考える

電話
今も昔も連絡手段の王様であり、双方の時間を同時に拘束する「同期型コミュニケーション」手段。細かいニュアンスまで伝わるため、デリケートな問題では対面に次いで効果は高いが、記録に残らない欠点は会話と同じ。しかし、若い世代ほど電話文化が無いため、スキル教育に従来より時間と手間が必要である運用コストが高い連絡手段とも言えます。

FAX
もう世の中から消えて欲しい... というのが正直なところ、因みに弊社の若手には FAX の使い方は教えていません=使えません。複合機という機器コストだけでなく、紙の購入・保管・セット、通信記録の配布、保管、データの転記等々、アナログ的管理で、他の通信手段と比べて手間とコストがかかるだけで効果は薄い FAX は「現代の伝書鳩」、あと数年で消えて欲しい ...。

メール
「いつもお世話になっております。」で始まる手紙が電子化された連絡手段、メールが面倒という声が多数あがるようになりました。関係者へ送信する「CC」や「BCC」で無駄にメール量が増える、FAX 同様に迷惑メール、営業 DM が大量に届く事で、メール処理に多大なる手間と時間が費やされています。手紙や FAX よりは便利で、重要な連絡手段ではありますが、せめてクラウド化するなど、運用見直しが必要なタイミングが来ています。

チャット
皆さんも文字から写真、スタンプまで使える「LINE」を家庭や友人と利用して便利さをご存知のハズです(頑なに拒否する人も居ますが ...)。個人版 LINE に業務連絡用のグループを作って運用している会社様もいらっしゃるほど、便利で即時性の高い「チャット」を会社の連絡手段で使わないなんて ... 有り得ない!! 企業間を超えて「LINE」、「Facebook Messenger」を使うケースも増えるなど、連絡手段として、ますますチャット優先の時代がやってきます。



法人で使うならルールを作って (PM8:00 ~翌 AM8:00 は着信 OFF、緊急連絡は電話にする等)、ストレスにならない運用が必要となります。常に仕事のことを考えている経営者としては 24 時間思いついた時に連絡できる便利な手段なのですが、多少の我慢は必要です (それでも電話より連絡しやすいです)。従業員の方からすると、24 時間仕事が頭から離れなくなるので、限度は必要です (弊社もパート社員から苦情が出て時間制限を設けました)。また業務命令が記録として残りますから、思いつき連絡はホドホド感も重要ですね 私も反省しております。

時間泥棒からの脱却! チャットが使えない職場なんて考えられない ...

時間泥棒の愛用ツール「電話」

生産性向上を考える場合、やはり要素として一番大きいのは時間の有効利用です。同じ作業量を半分の時間で出来れば大幅なコスト削減になりますし、残業代も削減できますね (笑)。業務の中でも最も生産性を下げる存在と言われているのが、「電話対応」です。電話を掛ける人は効率的でも、仕事中に強制的に割り込んでくる電話は、取り次ぐ人、折り返す人にとっては非効率な存在であり、皆さんも大事な仕事に電話に邪魔されて不愉快になった経験をお持ちの筈です。



インターネットが存在しない時代においては、同期コミュニケーションの持つ即時性が圧倒的に便利だったのですが、残念ながら電話という同期型コミュニケーション手段をとることで、相手の時間を強制的に奪ってきた事も事実です。非同期で即時性のあるチャットツールを PC&スマートフォンで、いつでもどこでも利用できる現代において、電話の量を減らしメール/チャットによる連絡に切り替えていく見直しを行わないと、働き方改革の求める生産性向上は実現できません。

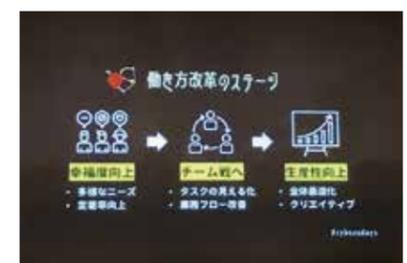
Cybozu Days 2019 in NAGOYA Cybozu Days 2019 in NAGOYA Cybozu Days 2019 in NAGOYA



サイボウズ Days 名古屋参加レポート

9 月号でサイボウズ DAYS 開催をお知らせいたしました。コムデックも社長以下 5 人で名古屋会場に参加して参りましたので、イベントの様子をレポートいたします!是非「どんな話が聞けるのか」「どんな雰囲気なのか」を感じ取っていただき、東京・大阪会場参加の検討材料としてくださいませ。

いくつかのセミナー会場と各企業のブースがあるのは概ねの展示会と同じですが、そこはサイボウズ、普通の展示会とは一味違います。今回のサイボウズ DAYS のテーマは「モンスターへの挑戦状」。各セミナー会場は「火炎の間」「猛毒の間」などと名付けられ、サイボウズの書籍やグッズを販売している物販ブースは「商店」と呼ばれる等、RPG の設定がフルに生かされていました。「モンスター=「こうしなきゃいけない」という「思い込み」によって作り上げられた実体のないカイシャという化け物」を倒すべく、我々参加者は勇者を目指します。さながらレベル上げをしたりアイテムを集めるように、セミナーで様々な「働き方のヒント」を得ていくことができるのです。



青野社長による基調講演のテーマは「サイボウズのクラウドが実現するチームワーク」。働き方改革、生産性向上といったワードにじわじわ首を絞められていませんか? そんな社会の風潮を横目に、サイボウズでは多様な働き方を実現、さらに生産性も向上させています。それが実現できた秘訣は? 社長自らが壇上に上がり、その要因を講演してくださいました。

名古屋会場では青野社長の講演以外のセッションも働き方改革に関わるものが多く、社内の風土改革こそが重要課題だ! というお話や、生産性向上を追い求める前に社内の多様性を受け入れてみよう! という自社でも大いに参考にしたいお話を多く聴講することができました。大阪会場や東京会場はさらにバラエティに富んだセッションが予定されている模様です。是非皆様もコムデックと一緒にサイボウズ DAYS に参加し、自社の働き方や仕事の進めかたを見直してみましよう!

さあ、勇者になるための「伝説の書」は手に入れました。これをどう使うかは自分たち次第というわけですね。カイシャというモンスターを倒すことはできるのか? コムデックの冒険は続く~!

**CYBOZU DAYS 2019
in 大阪**
12/5(木)・6(金)
@ グランフロント大阪